

# 議公た子川

第48号

発行 安曇野市議会  
平成29年11月1日



安曇野市

カヌースラローム大会 (明科)

平成28年度決算を認定 使われたお金は“409億2,700万円” .....	2
平成29年度安曇野市一般会計補正予算が決定 .....	4
常任委員会審査報告 .....	6
議員の辞職・議会選出の委員等 .....	10
市政のここが聴きたい!! 9月定例会一般質問 .....	10



平成 28 年度  
決算を認定  
(前年比 3 億 5,900 万円減)

使われたお金は **409 億**

**2,700 万円**

市民  
一人あたりにすると  
約 **41.8 万円**

平成 29 年 9 月定例会が 8 月 22 日から 9 月 15 日までの 25 日間開催され、平成 28 年度決算を含む議案 41 件と請願 3 件、陳情 4 件が審議されました。その中から、本会議での討論などを紹介します。

一般会計  
おもな使いみち

※各事業は万円未満切り捨て

行政運営や計画のため  
総務費  
59 億 1,400 万円



穂高支所

- ・穂高支所建築工事 3 億 2,139 万円
- ・コミュニティ FM 市政情報放送業務 842 万円
- ・水環境基本計画策定業務 2,075 万円

福祉の充実のため

民生費・衛生費  
148 億 7,100 万円

- ・明科南保育園建設事業 1 億 1,466 万円
- ・不妊・不育症治療費助成事業 1,892 万円
- ・自立支援給付 12 億 9,633 万円



道路等の整備のため

土木費  
44 億 9,800 万円



- ・拠点地域等住宅購入費助成 1,720 万円
- ・公園のバリアフリー化等整備 758 万円
- ・道路橋梁維持費 2 億 6,146 万円

農業・林業・水産業のため

農林水産業費  
21 億 9,900 万円

- ・安曇野の里湧水探索路改修工事 2,744 万円
- ・小水力発電推進事業 598 万円

地域産業振興や観光事業のため

商工費  
28 億 2,500 万円

- ・安曇野しゃくなげの湯整備事業 9 億 8,600 万円
- ・空き店舗等活用促進事業 (総合戦略) 1,375 万円
- ・産業振興ポータルサイト構築事業 409 万円



新しゃくなげの湯

公共施設の充実などのために  
借りたお金の返済

公債費  
47 億 8,500 万円



教育環境の充実と生涯学習のため

教育費  
40 億 4,600 万円

- ・南部総合公園再整備、新体育館整備基本計画策定および積み立て 1 億 919 万円
- ・小中学校体育館等非構造部材耐震化 (防災機能強化) 3 億 8,263 万円



議会費・労働費・消防費など

議会費・労働費・消防費・災害復旧費  
17 億 8,900 万円

- ・議会費 2 億 6,653 万円
- ・災害対策備蓄品等 2,218 万円
- ・勤労者資金融資預託金 6,000 万円
- ・消防団詰所新築工事 (第 7 分団第 1 部) 4,244 万円
- ・自主防災組織支援事業 236 万円



◆安曇野市の一般会計および特別会計

※千円未満は、切り捨て処理をしているため、差引額に相違が生じています。

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	416 億 3,233 万円	409 億 2,737 万円	7 億 496 万円

特別会計	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	上川手山林財産区	北の沢山林財産区	有明山林財産区	富士尾沢山林財産区	穂高山林財産区	産業団地造成事業	観光宿泊施設
	123 億 5,450 万円	10 億 5,153 万円	86 億 8,495 万円	251 万円	111 万円	115 万円	90 万円	99 万円	87 万円	2,867 万円
	118 億 7,711 万円	10 億 3,111 万円	85 億 4,450 万円	161 万円	54 万円	19 万円	38 万円	36 万円	56 万円	2,866 万円
	4 億 7,739 万円	2,041 万円	1 億 4,044 万円	89 万円	57 万円	95 万円	52 万円	62 万円	31 万円	1 万円

が出ていますが、実質的な公共サービスの中身を見ていると、財政運営の問題がある。特に福祉関係の施設については、建設当初の目的や住民要望に応じて運営してきたものが、老朽化して維持・改善が困難ということで切り捨てられ、福祉が後退しているのが反対する。

原案に反対

市の施策において評価できるものは多いが、国の 1 千兆円にもなる借金のため、地方にも大きな負担が生じ、臨時財政対策債や合併特例債等に頼る財政のため、後年度負担が大きくなっている。また、農業農村振興基本条例をなくす他、保育園の民営化、市職員の正規と非正規の雇用賃金の格差や、マイナンバー制度による個人情報保護の問題などが拡大する流れが見えるので反対する。財政健全化比率等の財政指標では問題ない数値

原案に賛成

第 1 次総合計画で掲げた田園産業都市の将来都市像の実現に向け、さまざまな取り組みを行っており、健康長寿のまちづくりを始めとする子育て支援など、福祉施策に重点を置いた市政を進めてきた。また、平成 28 年度決算状況と今後の財政運営から、将来を見据えた財政運営を行い、予算規模の適正化や経費削減に向けた行政のスリム化に取り組み姿勢が確認できたので賛成する。歳出抑制に関しては、第 2 次総合計画の策定では、外部委託を最小限にとどめたり、情報化計画の策定では、職員がすべて手掛ける等々の事例があり、努力がうかがえるので賛成する。

決算についての  
討論

契約

議案第 85 号 小学校施設改修事業穂高南小学校長寿命化改良工事  
I・II期請負契約  
請負金額 5億 8,320 万円

議案第 86 号 安曇野市堀金公民館講堂等改修工事請負契約  
請負金額 2億 8,080 万円

請願

請願第 3 号  
国民健康保険税の引き下げを求める請願書

賛成の討論

・高い国保税を引き下げてほしいという切実な要望がある。平成 28 年度の基金残高は、6 億 3 8 0 0 万円。一世帯一万円の引き下げを行っても、1 億 4 0 0 0 万円あれば足りるので賛成する。

反対の討論

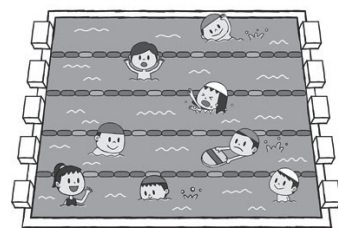
・国保税の負担感が大きいことは理解できるが、安定的な国保運営に必要な基金を取り崩して、ただ一回の一世帯一律一万円を減ずるというやり方は、一世帯といっても負担はさまざまで、公平性を欠いた形となるので反対する。

陳情

陳情第 5 号  
安曇野市穂高プールの廃止の見直しを求め存続を願う陳情書

賛成の討論

・市内唯一の屋外プールで、市民が利用し楽しみにしているもので、ぜひ存続してほしい。  
・このプールは、子育て環境になくはない施設。川遊びを制限されている小・中学生も家族同士、友達同士で、また障がいを抱えている人も比較的安価で一日中安全に過ごせる施設であり、賛成する。  
・財政面からみて合理性だけを優先して統廃合を進めるのではなく、「あづみ野ランド」充実の提案もあるので、それができるまでの期間をつないでいく意味で残すことに賛成する。



反対の討論

・公共施設の再配置計画で、市が保有する 380 を超える公共施設を持ち続けることは、財政的に不可能で、そのため廃止、統合、集約などで規模と数を圧縮する。存続要望に対して、そのつど議員が賛成すれば関係する市民は喜ぶが、再配置計画は成り立たず、結果として今の子供たちの将来に大きな負担を残すので反対する。  
・余熱利用の「あづみ野ランド」を充実させ、年間を通して子供から障がい者まで利用できるプールにすべきで、45 日しか利用できず、今後多額の修繕費のかかるプールを残すことに反対する。  
・公共施設再配置計画に本気で取り組むこと。プールを利用している受益者の陳情だけに耳を傾けるのではなく、プールを維持していくための税負担だけが増すことになる市民の声も考慮して反対する。

人事案件

議案第 88 号 教育委員会委員の任命につき、須澤真広さん・唐木博夫さんを同意した。  
議案第 89 号 固定資産評価審査委員会委員に、長谷川幹男さんを同意した。  
議案第 90 号 人権擁護委員の推薦につき、中澤みどりさん・布山茂正さんを適正とした。

議案第 59 号 平成 29 年度安曇野市  
一般会計補正予算(第 3 号)

補正前の予算額 → 補正額 → 補正後の予算額  
414 億 2,300 万円 △ 2,500 万円 413 億 9,800 万円

平成 29 年度予算の過不足が予測される経費について補正予算を編成

クローズアップ  
福祉

放課後等デイサービスが充実

障害児通所支援給付費等 2,854 万円

・障害児通所支援サービス事業は、発達に心配のあるお子さんに対し、生活習慣・運動・ことば・対人関係や社会性などの発達を促す働きかけを行う事業です。  
・市内では、平成 28 年度から事業所が 5 か所増え 7 か所になり、平成 29 年 7 月末時点で 115 人の障がい児が利用しています。



平成 29 年度安曇野市の主な特別会計補正予算

(千円未満は切り捨て処理をしています。)

特別会計	補正額	補正後の額
国民健康保険(補正第 1 号)	1 億 8,777 万円	124 億 527 万円
後期高齢者医療(補正第 1 号)	2,090 万円	10 億 6,050 万円
介護保険(補正第 1 号)	1 億 4,108 万円	91 億 9,491 万円
観光宿泊施設(補正第 1 号)	56 万円	1,676 万円
有明山林財産区(補正第 1 号)	11 万円	125 万円

条例改正

自動交付機の運用が終了

議案第 55 号  
安曇野市印鑑条例の一部を改正する条例

・市民カードを利用して、印鑑登録証明書などの交付を受けることができた証明書の自動交付機が、平成 29 年 9 月 30 日をもって運用が終了することに伴い、印鑑条例の一部を改正します。  
なお、自動交付機の運用は終了しましたが、現在お持ちの市民カードは印鑑登録証として必要ですので、大切に保管してください。

条例改正

合葬式墳墓を新規に整備

議案第 56 号 安曇野市霊園条例の一部を改正する条例  
議案第 57 号 安曇野市霊園施設整備基金条例の一部を改正する条例

・穂高墓地公園に「合葬式墳墓」を新たに整備し、個別埋蔵室及び共同埋蔵室を設置することに伴い、霊園条例の一部を改正します。  
・霊園施設整備基金は、施設整備を目的とした基金であり、合葬式墳墓の管理に関する事業にも充てるために霊園施設整備基金条例の一部を改正します。




合葬式墳墓 イメージ図



福祉教育

福祉教育委員会では9月8日、付託された9件の議案と3件の請願・2件の陳情を審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等→  9ページ

議案第58号

安曇野市ちくに生きものみらい基金条例

クモや昆虫の研究者として知られる故千國安之輔先生の次女の故千國峰子氏から遺贈を受けた寄附金を原資とし、安曇野市の環境教育を広め、豊かな自然環境を後世に引き継ぐ施策の実施を目的とする基金を新設。

寄附金 5,340万 1,504円



千國安之輔先生の図鑑

陳情第5号

唯一の市営プールの存続を

安曇野市穂高プール廃止の見直しを求め存続を願う陳情書



穂高プール

反対の意見

- ・市の北部にある各施設に、気軽に行ける公共交通を検討する中で考える必要があるため、穂高プール1つだけをとって残すことには反対する。
- ・陳情項目の中にレジャープールを希望するとあるが、現状の市財政では実現困難で、あり得ないこと。新体育館も縮小すべきと考えているぐらいで、20年、30年先の市の姿を考えたとき、プールの存続や新たなプール施設をつくることは難しい。

賛成の意見

- ・新体育館の維持管理費が年間6,400万円とすると、老朽化対策、補修・修繕費用と比較してそれほどではなく、穂高プールを存続していけると考える。
- ・穂高プールの代替施設として、「あづみ野ランド」のプールの充実を考えていくにしても、それができ上がるまでは穂高プールを残してもらいたいという思いから、この陳情に対して賛成する。

請願第3号

国民健康保険税を1世帯1万円の引き下げを

国民健康保険税の引き下げを求める請願書



反対の意見

- ・単年度で黒字が出たので次の年の税率を下げるものの、次年度は赤字に転落し、また税率を上げるという混乱を経験している。国保会計を安定運営するには基金は5億円が必要。その基金を取り崩して1世帯1万円引き下げることには反対する。

賛成の意見

- ・高い税率により、蓄えてきた基金である限り、加入者にそれを返していくことも考えていかなければならない。大規模な感染症の流行等に備え、安定的な運営のためには、基金は5億円必要というが、そういう事態には国からの予算づけがあるので、1万円の返還はできると考え賛成する。

総務環境

総務環境委員会では9月7日、付託された6件の議案と2件の陳情を審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等→  9ページ

議案第70号

平成28年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について

平成28年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について審査した。



反対の意見

- ・正規職員と非常勤職員の賃金格差の問題は、同一労働同一賃金の趣旨に反するものである。
- ・健全財政の基本である自主財源の確保に道を開かなければならないにもかかわらず、市債の縮小は図られておらず、財政的に非常に危険な状況にあることから、この決算には反対する。

賛成の意見

- ・職員の適正な配置に関しては、今後検討すべきところは検討していくという前向きな答弁をいただいている。
- ・健全財政に関しては、自主財源の確保は重要であるが、平成28年度一般会計は適正に処理されており、以上の点から決算については賛成する。



執務する職員（1階市民課窓口）

共謀罪法について

陳情第4号

いわゆる「共謀罪」を新設する「改正組織犯罪処罰法」の即時廃止を求める陳情書

陳情第6号

「共謀罪法（改正組織犯罪処罰法）」の廃止を求める意見書の提出を求める陳情書



反対の意見

- ・憲法に定められた基本的人権の尊重の観点から、刑法でも罪刑法定主義をとっているにもかかわらず、今回の共謀罪の内容はそれらを無視したものとなっている。たとえば、酒と弁当を持っていけば花見だが、地図と双眼鏡を持っていけば犯罪の準備行為だと担当大臣答弁があるなど、人権侵害のおそれがある非常に危険な法律であるので反対する。

賛成の意見

- ・日本の刑法は、何か行なったことについて罪を認定するのが基本であるが、テロやゲリラやサリン事件のような重大犯罪は、起きてしまってから処罰しても意味がない。一般人の命が奪われることのない安心安全な社会にするために、計画段階から処罰対象にして取り締まる必要があるため賛成する。

審査を継続したいという意見

- ・賛成も反対もそれぞれの強い思いが感じられるが、この改正組織犯罪処罰法は、施行されてまだわずかであり、一般人が処罰をされたという事例もない。必要か必要でないかは少し様子を見るべきだと思うので、継続審査を提案する。



報告事項

報告番号	件名	結果
25号	地方自治法第180条の規定による専決処分報告について(道路事故に関する事)	受理
26号	平成28年度決算に基づく安曇野市健全化判断比率について	
27号	平成28年度決算に基づく安曇野市産業団地造成事業特別会計資金不足比率について	
28号	平成28年度決算に基づく安曇野市観光宿泊施設特別会計資金不足比率について	
29号	平成28年度決算に基づく安曇野市水道事業会計、安曇野市下水道事業会計資金不足比率について	
30号	地方自治法第180条の規定による専決処分報告について(安曇野市消防団消火栓点検における原動機付自転車の転倒事故に関する事)	

総務・財政・環境

議案番号	件名	結果
55号	安曇野市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
56号	安曇野市霊園条例の一部を改正する条例	
57号	安曇野市霊園施設整備基金条例の一部を改正する条例	
59号	平成29年度安曇野市一般会計補正予算(第3号)	認定
70号	平成28年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について	
84号	松本広域連合の処理する事務の変更及び松本広域連合規約の変更について	

健康・福祉

議案番号	件名	結果
60号	平成29年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
61号	平成29年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
62号	平成29年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
71号	平成28年度安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
72号	平成28年度安曇野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
73号	平成28年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	

教育

議案番号	件名	結果
58号	安曇野市ちくりに生きものみらい基金条例	原案可決
85号	小学校施設改修事業 穂高南小学校長寿命化改良工事I・II期請負契約について	
86号	安曇野市堀金公民館講堂等改修工事請負契約について	

選挙

選挙	件名	結果
選挙	松本広域連合議会議員の選挙	当選

議員提出議案

議案番号	件名	結果
3号	安曇野市議会の議決すべき事件を定める条例	原案可決
4号	道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	
5号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	
6号	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書	
7号	私立高校への公費助成に関する意見書	

産業・経済・観光

議案番号	件名	結果
63号	平成29年度安曇野市上川手山林財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
64号	平成29年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計補正予算(第1号)	
65号	平成29年度安曇野市有明山林財産区特別会計補正予算(第1号)	
66号	平成29年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計補正予算(第1号)	
67号	平成29年度安曇野市穂高山林財産区特別会計補正予算(第1号)	
68号	平成29年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	
69号	平成29年度安曇野市観光宿泊施設特別会計補正予算(第1号)	
74号	平成28年度安曇野市上川手山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
75号	平成28年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
76号	平成28年度安曇野市有明山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
77号	平成28年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
78号	平成28年度安曇野市穂高山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
79号	平成28年度安曇野市産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
80号	平成28年度安曇野市観光宿泊施設特別会計歳入歳出決算の認定について	

建設・水道

議案番号	件名	結果
81号	平成28年度安曇野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
82号	平成28年度安曇野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
83号	市道の認定について	原案可決

人事

議案番号	件名	結果
87号	監査委員の選任について	同意
88号	教育委員会委員の任命について	
89号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	
90号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

請願書

請願番号	件名	結果
1号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する請願書	採択
2号	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書	
3号	国民健康保険税の引き下げを求める請願書	不採択

陳情

陳情番号	件名	結果
3号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択
4号	いわゆる「共謀罪」を新設する「改正組織犯罪処罰法」の即時廃止を求める陳情書	継続審査
5号	安曇野市穂高プール廃止の見直しを求め存続を願う陳情書	不採択
6号	「共謀罪法(改正組織犯罪処罰法)」の廃止を求める意見書の提出を求める陳情書	継続審査

経済建設

経済建設委員会では9月11日、付託された19件の議案について審査しました。その中から議論となった議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 → 9ページ

議案第70号

平成28年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について

「立地適正化計画」について議論した。

立地適正化計画は、強制ではなくゆるやかな集約を図り、誰でもが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを目指すというもの。



反対の意見

- ・誘導された地域には商業施設、公共施設の整備がされ、学校や保育園なども面積を広げなければならなくなる。
- ・周辺部との新たな格差が出てくるのではないかと。行政サービスはどこに住んでいても、公平に受けられる権利があり、行政はそれを第一義的に考えなければならぬ。
- ・立地適正化計画は市民からの自発的なものではなく、国主導で行われている。一層地域の衰退を招くのではないかと懸念を持っているので反対する。

賛成の意見

- ・人口減少という社会が必ず到来する。市の立地適正化計画は多極型のコンパクトシティをつくるという計画。そこへ接続するアクセスについても考えていく。
- ・周辺部の整備、居住、暮らしについては立地適正化というよりも、他の事業で対応していかなければならない時代が来る。この立地適正化計画は市にとっては必要なものだと思います、賛成する。



市では「立地適正化計画」について5地域で説明会を開催(豊科会場)

安曇野市の「立地適正化計画」とは

市の人口は、約20年後には現在の2割減となり、高齢化率も30%台後半になると予測している。そのため、支所周辺など既存市街地13カ所に居住を集約し、だれもが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを目指す。そこで、強制ではなく、届出により20年後を目標にしたゆるやかな集約を図っていく。





信誠会 山田 幸与

### 公共施設の統廃合、全市的な視点での検討を



問 市の将来的な財政負担の抑制に向け、公共施設の再配置は、進めなければならぬ課題である。ただ施設廃止だけを示されても、地元関係者としては受け入れ難いのではないかと。説明会でも反対意見が根強い。とすれば、どのような対応であれば、市民の理解が得られるのか。一度立ち止まって、具体的に検討する機会として「検討委員会を設けるべき」と提案するが。

全な財政運営を堅持しているとのことであり、今後とも予算規模の適正化を図りながら、経費節減・基金残高の確保等、事務事業の選択と集中により財政のスリム化を進めていく。また、平成29年度策定する実施計画には、行政評価結果などを確実に反映していく。

問 平成28年度の決算、第2次総合計画の策定などを踏まえ、現在の財政計画を見直す考えは。

答 国の制度設計等、十分に注視していかねばならないが、平成29年度中には、見直し作業に着手していきたい。

答 全市的にこれからの安曇野市をどうしていくべきか、という視点からすれば、機能移転や複合化案など、検討していく必要があると捉えている。今後の行政運営の中で、参考にする。

### 平成28年度決算状況と今後の財政運営

問 決算数値や財務指標から、市の財政状況は良くなったのか。平成29年度の実施計画に向けた、スリム化に対する姿勢について伺う。

答 監査委員の意見書においても、健



市民の暮らしを守る水道事業



信誠会 一志 信一郎

### 国際化に向けた英語教育の環境づくりは



問 国際化に向けて、市の施策は。

答 市内宿泊施設における2016年の外国人団体宿泊者数は、前年対比25・6%増の1万5261人で、年々増加をしている。観光産業の振興を図る上では、大変重要なポイントである。看板等への多言語の表記の他、子供から大人までが外国人とある程度の日常会話、コミュニケーションがとれるような英語教育の環境づくりという受け入れ側の条件整備が非常に重要になってくるものと考えられる。学校教育等においても外国の皆さんと接するような機会が持てばいい。

表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養うことの強化が示されている。

問 東金市との2年間の「仮称サマーキャンプ交流事業」の取り組みと今後の方向性は。

答 城西国際大学の留学生との交流は、英語による簡単な自己紹介とゲーム遊びを行い、貴重な体験になった。友好都市にある大学等の留学生や学生との交流は、異文化と触れ合うことができ、有効であると考えられる。関係課並びに市校長会等と連携をとり、研究していきたい。

問 「小学校3年からの必修化」「小学校5年生からの教科化」が2020年から完全実施されるが、今後の英語教育は。



城西国際大学留学生との英語による交流

答 2020年度の学習指導要領から、小学校では3・4年生の外国語活動が必修となり、5・6年生の英語の教科化が実施される。中学校では従来の英語の学習に加えて、具体的に身近な話題についての理解や

### 平成29年 9月定例会

### 議案等議員別賛否一覧表

### 賛否が分かれた議案等

議案等番号	議員名	議決日	議決結果	議席番号																								
				1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
議案第70号	平成28年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9/15	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第71号	平成28年度安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/15	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第73号	平成28年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/15	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願第3号	国民健康保険税の引き下げを求める請願書	9/15	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×			
陳情第5号	安曇野市穂高プール廃止の見直しを求め存続を願う陳情書	9/15	不採択	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×			

### 議員辞職

- ・宮澤豊次（平成29年8月21日付辞職）
- ・松澤好哲（平成29年10月2日付辞職）
- ・宮下明博（平成29年9月1日～10月22日）
- ・宮下明博（平成29年9月1日～10月22日）

### 議会選出監査委員 松本広域連合議会議員



信誠会 宮下 明博

### 長峰荘周辺の防災対策



問 市長は長峰荘の市民説明会で土砂災害特別警戒区域を理由に、長峰荘の存続は難しいと話された。警戒区域を理由に廃止なら長峰荘の下には人家も多く、福祉施設もあるので安全対策が必要だが、県に対し防災工事の要請をしたか。

維持するのは困難である。

答 警戒区域のみが廃止の理由ではなく、建物が老朽化し、指定管理の期限が迫り、経営も赤字である。そして公共施設の統廃合計画の中でも検討されている。土砂災害の恐れのある箇所については、平成23年度から急傾斜地崩落対策事業を県に要望しており、今後も継続していく。

問 私は、ハード事業については対応してもらい、最後は行政主導で民間の力を借りなければ存続は難しいと思う。廃止ではなく、行政と民間の協働で長峰荘が存続できる施策をとってほしい。

答 あり方検討委員会のようなものを作りながら、一定の方向を出さなければいけないと思う。

- 明科川西地区の避難施設について
- 自主防災会の活動保険について

問 土砂災害特別警戒区域を長峰荘廃止の理由づけの一つにした以上は、ハード事業が重要なポイントになると思う。ハード事業の可能性と長峰荘存続をどう考えているか。

答 存続に関する要望書を、過日提出してもらい、存続を望む地域の皆さんの気持ちは十分理解できるが、財政面等からすべての公共施設を



長峰荘

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。（会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。）





公明党 中村 今朝子

### 支所機能の充実を



**問** 本庁舎が開庁し組織のスリム化が図られ、各総合支所が支所となつて、本庁に出来ないことからある。インターネットでわかることは、支所でも対応できるようにしてほしいが、どうか。

**答** 現在のシステムの中で、支所においてもサービスが提供できるように運用方法を研究している。

### 認定こども園・幼稚園・小中学校にエアコンの設置を

**問** 想像を超える猛暑の日がある。小中学校での熱中症を発症した子供の状況を伺う。

**答** 今年度の発症件数は40件。教室内で21件発症したが緊急搬送はなかった。

**問** 認定こども園・幼稚園で体温調整が未熟な子供たちのお昼寝の場所、小中学校の3階・2階の大変に暑い教室から順次エアコンの設置を要望するが、どうか。

**答** 国庫補助制度の動向や財政状況を勘案して検討していく。認定こども園・幼稚園には必要な所に早期に設置するよう対応する。

### 穂高プールについて

**問** あづみ野ランドを全面改築して、子供から高齢者、障がい者が通年利用できる温水プールとして使えるようになるまで、穂高プールを改修して存続してほしいと要望するが、どうか。

**答** 関係部局と調整を図りながら検討し、市民とも相談をして決めていく。

【その他の質問事項】  
○消防団員の確保について



信誠会 竹内 秀太郎

### 安曇野市の財政課題、自主財源の確保を問う



**問** 標準的な市の税収で、行政事務の必要経費をどの程度賄っているか検証した結果、約半分しか賄えていない。そして、低下傾向がみられる。そこで、財政力指数の向上を目指した財政転換が必要ではないか伺う。

**答** 農林業、商工業、観光業など、あらゆる産業の振興を図って、若い世代の市外転出に歯止めをかけて、住居を構えてもらうことで、税収の増加、そして市内経済の活性化につなげたい。財政力指数を上げるには、税収等の増加が必要であり、自主財源の確保に向けて努めていきたい。

### アルプス花街道に財源支援

**問** アルプス花街道実行委員会にマリゴールドの植栽と管理を委託する財源になつていない「ふるさとづくり基金」が少なくなつてきたので、積み増しを要請する。

**答** この事業はぜひ続けていきたい。今後も事業が継続してできるように、予算を確保したい。

**問** 財政力指数の低下傾向をストップさせることと、第2次安曇野市総合計画に自主財源確保の目標値を位置づけることについて伺う。また、住宅地や住宅団地の造成、産業団地拡張や新たな造成を第2次安曇野市総合計画に位置づけることについて伺う。

**答** 数値目標とすることは困難だと

平成28年度普通会計決算概要											
歳入決算額 416億2,500万円 単位: %											
歳入	市税	国庫支出金等	地方交付税	雑収入他	市債	その他					
	28.6	13.9	26.3	72.82	100	5.8					
自主財源 44.0				依存財源 56.0							
歳出決算額 409億1,900万円											
歳出	人件費	普通建設事業費	物件費	公債費	繰入金	補助費等	その他				
	13.2	15.2	14.4	11.7	8.0	16.7	6.2				
義務的経費 39.5				その他経費 60.5							

※地方財政状況調査による



日本共産党 安曇野市議団 松澤 好哲

### 憲法を守り豊かに暮らせる安曇野市の未来!



**問** 市長とは、憲法の3原則を守り、戦争法や共謀罪等で日本国憲法を変え、戦争に向かう政治には批判的共有をしてきた。憲法第9条に第3項を加え、自衛隊の海外派兵を盛り込む点での見解は。

**答** 日本国憲法の3原則は今後も堅持し、憲法第9条への第3項の追加は拙速に進めるべきでない。

### 宮澤市政の評価と健全財政について〜地下水から〜

**問** 市長は将来都市像に「産業」を加えて8年。しかし、市のアンケート結果では71%が中小企業で、6割は後継者がいないから事業の見通しが無いという状況。しかも、基幹産業である農業を守る農業農村振興基本条例を廃止する方向である。また、市の借金は840億円もあるが、財政計画は平成34年までしかない。自主財源も40%で、市民の暮らしと市の展望の道は不透明である。自主財源を農業と地下水で確保できると提案してきたが、その実現はどうか。



農業の安定化

**答** 市の財政指標は健全化判断比率ですべての会計で黒字である。産業振興条例(仮称)は検討中で、施設整備は財政負担の平準化、世代間負担の均衡を図り、有利な起債を計画的に活用していく。地下水揚水事業者などの費用負担は、水資源対策協議会で一定のルールを平成30年度中に確立し、揚水事業者と合意形成を図りながら平成32年度ぐらいに財源確保していく。

【その他の質問事項】

○安曇野の財産をどう生かすか  
○生まれ育ち一生を安心して過ごせる安曇野について



日本共産党 安曇野市議団 井出 勝正

### 国に、核兵器禁止条約のサインを求めよ!



**問** 第9回平和首長会議に参加した市長は、安倍首相に核兵器禁止条約へのサインを求め、一触即発の戦争になりかねない北朝鮮とアメリカに冷静な対応、話し合い解決を発信するべきではないか。

**答** 日本が条約にサインしなかったのは残念だ。思いは総会の代表が官邸に伝え、北朝鮮のミサイルについては、政府や各国の、しっかりと話し合う外交姿勢に期待する。広島平和記念式典に参加した中学生と市民の車座報告会の提案を受け止め、市ができることを模索したい。

### 問 給付型奨学金の創設、子供の貧困対策の実態調査や給食費の無償化を考えたらどうか。

**答** 市の給付型奨学金制度の創設だけでなく、市の入学準備金貸付制度や国の制度の活用を勧める。実態調査については県の調査を踏まえ、関係部局と調整を図り検討する。学校給食費の無償化は、周辺市町村の動向を注視しながら、研究させてもらう。

### 内心を評価し、一方的な価値観を刷り込む道徳教科書は問題

**問** 互いの違いや命、人権を認めるのが道徳教育の基本。心のありようを評価し、価値観を刷り込む教科書使用は許されるのか。

**答** 人間としてのより良い生き方を求め、共に支え、語り合うのが道徳教育の本質。評価は学びの過程を記述する。教科書は公正かつ適切



教科書展示棚より「道徳の教科書」

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)





政和会 平林 徳子

### 交通事故の減少に向けて、現状や対策等は



問 市の交通事故の状況・原因・対策等を伺う。

答 事故発生件数は、平成27年・28年と増加傾向にある。安曇野警察署管内の全人身事故に占める高齢者が関わった事故は39%で非常に高い。平成29年の事故件数は昨年より減少傾向だが、事故の被害者だけでなく加害者になるケースが後を絶たない。背景には加齢による身体機能の変化等が考えられる。対策として季別の立哨活動や、参加体験型の高齢者交通安全教室を年3回、高齢者宅家庭訪問、リーフレットによる交通安全意識の高揚を図っている。また、夜間反射材を配布し、事故防止に努めている。

路改良は継続40路線、新規4路線を実施した。②交通量等により消え具合に差異があり、塗り替えのサイクルは不定。外側線や交差点の十字マーク等は道路管理者(市)で実施。横断歩道や「止まれ」の赤い標識等は公安委員会に整備をお願いしている。③私有地から道路上に張り出している枝葉は、土地所有者に適正な管理をお願いし、実施率は良い。

【その他の質問事項】  
○災害への備えについて  
○公共交通(あづみん等)は



路面標示の復旧作業中

問 子供を取り巻く環境は、複雑かつ多様化している。子供の誕生から自立まで、子育てや発達障がいに関する諸施策等を一元化して進めるためにも「子ども部」への組織改編ができないか。

答 乳幼児の健康や発達に関しては保健医療部、障がいに関することは福祉課、就学前の支援は子ども支援課、学童期は教育部で担当し、専門性を活かした支援を実施している。また、「母子・子育て相談窓口」



裸足で活発に外遊びする園児



信誠会 小松 洋一郎

### 子供の権利のための「子ども条例」制定を



問 いじめ、虐待、不登校等多くの問題を抱え、悩み苦しむ子供たちを支援するためにも、市民が子供の権利に係る考え方を共有し、総合的に支援する「子ども条例」の制定ができないか。

答 本市も子ども・子育て支援法に基づき、平成27年4月に「安曇野市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、総合的かつ継続的に推進している。成果は上がるものと考えている。当面、条例を制定する考えは持っていない。

での対応も定着し、現段階での組織改編は市民の混乱を招く。今後、「子ども部」創設の必要性について関係部局と調整し、慎重に検討していきたい。

問 本市の園庭の芝生化の現状と今後の方向性を伺う。

答 芝生化は全園庭3園、一部園庭7園あり、多くのメリットがある反面、維持管理費が高くなるデメリットがある。建設中の三郷北部は、園庭面積の四分の一を、計画中の明科南、たつみの各認定こども園は、園などで管理できる部分的な芝生エリアを計画している。



日本共産党 安曇野市議団 猪狩 久美子

### 公共施設の統廃合は



問 穂高プールの廃止が示されたが、家族または友だちと憩える場所として大いに利用され、子供たちや障がい者にとって貴重な施設だ。「海のない地域で、市内唯一のプールを廃止するとは、とんでもない」「孫が、遊びに行くところがなくなる、と言って切ながっている」「歩行困難でも水の中だと足を動かすことができる」など、たくさんの声を聞いている。存続の声にどう応えるのか。

答 老人クラブ等の高齢者団体が「有明の間」を利用する場合、月1回を限度として無料で利用できるようにする。入浴介助を必要とする人を対象に、「暖らんの湯」の割引券を交付する。割引券1枚と500円で介助者と一緒に1時間利用できる。

【その他の質問事項】  
○長峰荘の廃止について  
○「公共施設再配置基本方針」及び「公共施設等総合管理計画」

になるか。

答 老人クラブ等の高齢者団体が「有明の間」を利用する場合、月1回を限度として無料で利用できるようにする。入浴介助を必要とする人を対象に、「暖らんの湯」の割引券を交付する。割引券1枚と500円で介助者と一緒に1時間利用できる。



政和会 功 松枝

### 人口減少時代に向けた地域づくりの戦略は



問 市は、到来する人口減少社会を克服するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、対応を始めた。総合戦略では、減少スピードを緩める方策も大事だが、人口減少時代にどのような地域社会を創っていくのかというビジョンを示すべきでは。3期目を目指す宮澤市長の覚悟と戦略を伺う。

答 市民が将来に不安なく、安心して暮らせる市を実現するため、人口減少の抑制と市の活力保持を最重要課題に、覚悟を決めて取り組む。中小企業の事業継続への支援、自然の中で夢が持てる住宅施策等により、田園産業都市を実現したい。

問 この計画に沿った整備が進められるのが明科駅周辺。進捗と見通しは。答 先行する国道19号の歩道整備は、用地取得などが順調に進捗。駅前整備は、交通の結節点の機能を向上させる再整備を予定。国道沿線の住宅、商店のほとんどが補償対象だが、「住み続けよう、商売し続けよう」を合言葉に、現地または周辺での再建を基本に据えた取り組みが進み、市も協力している。

### 安曇野しゃくなげの湯について

問 10月以降に穂高老人保健センターの機能移転が図られるが、「暖らんの湯」「有明の間」の減免措置は高齢者や障がい者に対してどのような

答 借地料や年々増加している維持管理費がある。また多額の改修費も必要。後年度負担はできるだけ少なくしていくためにも、公共施設を見直していかざるを得ない。しかし、存続の声もあるので、庁内で検討し、改めて方針を示す。



穂高プール

問 施策の多くがソフト事業だが、人口減少社会でも豊かな地域を創るための「立地適正化計画」とは。答 既存の市街地に居住や都市機能を



様変わりする明科駅前

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)





公明党 小松 芳樹

### 公共施設を積極的に貸し出しているのか



**問** 社会教育法第23条では、公民館の使用において特定政党の利害に關しての利用が禁じられているが、市の考えを伺う。

**答** 「特定政党に貸し出す」という事実のみをもって、直ちに制限すべきではないと考えている。よって、これまでも政治活動等については、講演会や決起集会等にも使用許可してきた。今後も、公民館条例や社会教育法に抵触しない限り使用を許可する。

**問** 秦野市では、ハコモノ白書を作成した結果、今後廃止や統合を積極的に進めないと、財政を圧迫する現実が読み取れた。単に廃止・縮小・統合するのではなく、公共施設を民間へ積極的に貸し出しする方策をとって成功している。市も庁舎や公共施設の利用していないスペースを民間へ貸し出し、公民館は学習塾などへ積極的な貸し出しをしてはどうか。



リニューアルされた豊科公民館ホール

**答** 現在、約50室ある余裕教室は、放課後児童クラブや市民ボランティア活動に利用されている。社会情勢をにらみながら、社会教育施設も、児童クラブなどの活動に積極的に貸し出していきたい。



政和会 坂内 不二男

### 第2次安曇野市総合計画と財政計画との調整は



**問** 既に公表している財政計画（平成25年度～平成34年度）と新たに策定する総合計画（平成30年度～平成34年度）との基本的考え方は、

**答** 総合計画は、財政運営の根幹となる計画で各種計画の最上位であり、分野別の計画の策定は総合計画と整合性を図るようになっていく。財政計画は、国の制度改正や市の新たな事業が決定した場合など、予算編成に大きな影響が生じる場合には2年に1回程度見直しを行うこととしている。また、財政計画は総合計画を具現化する実施計画に即した計画であり、各種政策の実現可能性を財政的に担保するものである。これらの計画は、相互に密接不可分の関係にあるので、財政計画の見直しは財政規律に対する十分な配慮のもと、相互に連携を取りつつ進めていきたい。

**問** 財政計画では、平成34年度に23億円という多額な繰入金で財政が賄われ、経常経費に市単独事業が多いのではないのか。



**答** 財政計画において、歳入の市税・地方交付税の減額に見合った財源の転嫁は、行政改革の取り組みを反映した新規・継続事業の決算を積み上げたものである。これからは、行政評価結果の適切な予算反映や支出内容の再検討の取り組みを進め、最小の経費で最大の効果を発揮すべく、事業の選択と集中に取り組みたい。

【その他の質問事項】  
○市内で発生した火災の市民周知



公明党 藤原 陽子

### 住んで良かった！ まちづくり



**問** 子供の医療費では、1レセプトあたりの受益者負担金500円が、多子世帯には特に負担がかかるが、完全窓口無料化の検討は。

**答** 平成28年度の15歳未満で試算すると、約6000万円の負担が生ずる見込みで今後の検討課題とする。

**問** 入浴料割引券交付事業で、一人では行けない人のために、同行した人も割引の対象にならないか。

**答** 他人に譲渡して市民から指摘された経過があり、事業の検証と、他の事業に生かすためのデータ蓄積のためにも対象者を限定している。

**問** あづみんの利用について、乗り換え割引を要望する。

**答** 運行体制の見直しを公共交通協議会に依頼しており、年度末に公表予定。乗り換え割引については、公共交通確保維持改善事業補助金の見直しや、市の一般財源を考慮し、慎重に検討する。

**問** 教育現場でのカラーユニバーサルデザインについて、色覚障がいの子供たちのために、チョークの色

や、赤ペン添削の検討を。

**答** 色覚用チョークを全ての学校で使用する。認識を深めるための研修も継続して取り組む。

**問** 健康ポイント事業がより良い取り組みとなることを要望する。

**答** まずは、平成30年度に国保加入者から、楽しんで健康づくりができるよう、始めたい。

**問** 台風で一時避難場所の開設をしたが、車のない人に配慮した輸送手段の検討について伺う。

**答** 共助が大切で、地区の避難体制について日頃から考え、出前講座を通じてお願いをしていく。



子供たちの健康に最大の留意を！



政和会 内川 集雄

### 市の小・中学校の特別支援学級に関して



**問** 市における小・中学校の特別支援学級の現状と課題、および課題解消に向けての対応について伺う。

**答** 特別支援学級在席の児童・生徒数は、近年右肩上がりで増加している。障がいの特性もさまざまであり、支援する教職員は高い専門性と、幅広い対応力が求められる。厳しい財政事情の中、市では、平成29年度、市費で特別支援教育支援員として64人を配置した。学級担任に支援員を加えた複数の教員が、多様な児童・生徒に応じた適切な支援を行うことは必要と考え

るが、支援員を配置できる人数には限界がある。今後は、支援員の指導力を高め、学級担任との効果的な連携のあり方や子供へのかわり方等を学ぶ研修の充実、支援員が見通しを持って支援できるための計画的な校内体制の整備等を進め、適切な配置に努めていく。

**問** 知的障がいのある児童に対する電子黒板の導入と状況について伺う。

**答** 学習において、できるだけ具体的



電子黒板活用授業

でわかりやすい教材の提示ということは、普通学級の児童・生徒はもちろんのこと、特に障がいのある子供たちにとっては不可欠である。さまざまなICT機器は、一つ一つ障がいの違う子供たち、特性の違う子供たちには特に有効であると捉えている。

【その他の質問事項】  
○保育士、教師と保護者に関して  
○明科高校とJR篠ノ井線活性化に関して

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)





民心・無所属の会 増田 望三郎

### 農家と非農家の協働による農地保全の可能性



**問** 大規模な荒廃農地の解消は農業者や法人が行い、施策も用意されている。一方、住宅地の中にあるような小規模な耕作放棄地は非農家の市民の手で解消する。キーワードは「前栽畑」。前栽畑のある暮らしを取り戻し、小さな畑を非農家が利用できるようならないか。

**答** 農業経営基盤強化促進法による利用権設定では最低経営面積制限の縛りがないので、農業に意欲があれば、地権者との合意の下で非農家でも農地を借りられる。

**問** 策につながるので研究する。気軽に相談窓口を利用してほしい。

**問** 非農家である市民も前栽畑で農地を保全すれば、自分も田園環境を守っているという市民プライドが芽生え、それが育ち、安曇野ブランドになる。安曇野を大切にすればするほど市民プライド、安曇野ブランドが外にも広がり、市外の人たちとも農地保全の協働ができる。安曇野を愛し誇りに思う市内内外の人たちが共に生き、安曇野をつくっていくのが私の夢。市長の夢は。

**答** 夢はともに響き合える安曇野をつくること。安曇野の田園環境は宝。



前栽畑のある暮らし (前栽畑…家の前、庭先にある畑)

**問** 目指すまちづくりと公共施設再配置計画の推進・見直しの取組は。

**答** 活力あふれる持続可能なまちの実現を目指す。毎年ローリング方式によって見直しを行っていく。

**問** 圧倒的な地域住民の願いである長峰荘の存続を。

**答** 今後も地域の皆さんとの話し合いの場を設け、議論を継続していく。

**問** 穂高プール存続か縮小か、あづみ野ランド改修で機能移転の対応を。

**答** 存続は、改めて検討して方向づけをする。縮小は、将来の財政問題、指定管理者契約の見直し等も含めて検討する。あづみ野ランド改修は、今後慎重に対応策を考える。教育委員会も、穂高プールは今後再検討し、改めて方針を決める。

**問** 豊科のまちづくり会館の存続を。

**答** ささまざまな観点での活用を検討し、方向を見出していきたい。



まちづくり会館 (豊科成相、国道 147 号線沿い)

**問** 推進の目標と取り組みは。

**答** 地域包括ケアシステムの構築を進めている。「あづみん」の利便性なども高めていかなければならない。

**問** お年寄りや家族のために、介護予防・日常生活支援の充実を。

**答** 平成29年4月1日からの介護予防・日常生活支援総合事業により、事業を進めていきたい。

**問** 配食サービス、緊急通報サービス、高齢者通院等支援サービス、高齢者の入所施設の確保・充実等、高齢者福祉サービスの充実と周知を。

**答** 重要なサービスと位置づけている。今後も効率的な周知に努める。



民心・無所属の会 林 孝彦

### 長峰荘、穂高プール、まちづくり会館存続を



政和会 藤原 正三

### 安曇野・軽井沢双方向観光ルートの形成



**問** 市と軽井沢町が水平位置同緯度にある。この位置関係に着目して安曇野・軽井沢双方向観光ルートの形成を提案するが。

**答** 市は市町村の枠にとられない広域観光の促進に取り組んでいる。安曇野の観光の現状を見ると、中信地区の連携をさらに強めながら、滞在型交流観光にも取り組み、観光地としての魅力を高めることが重要だ。提案については、夢のあることで、今後検討が必要だ。

**問** 自然・再生エネルギーの全学的、広域的利用

**答** 太陽エネルギーを使って、水素をつくり、水素エネルギーを自動車や災害時の緊急電源等に利用することを提案するが。

**問** クリーンな次世代エネルギーとして期待はされているが、経済性や確実性など課題が多く、実用化は困難な状況だ。将来の政策課題と考えている。



民心・無所属の会 小林 純子

### あづみ野ランド バリアフリー化で有効活用



**問** 穂高広域施設組合(穂高クリーンセンター)の余熱利用プール施設・あづみ野ランドの有効活用に関する考えは。

**答** あづみ野ランドは、新ごみ処理施設建設に当たり、地元区との協定により存続させる計画である。老朽化が進んでおり大規模改修が必要な時期に来ているが、新ごみ処理施設と同時にできない。なお、施設の改修には本市だけではなく、組合構成市町村の同意や組合議会の協力が必要である。

**問** 障がい者や高齢者、妊産婦など歩行が困難な人に、県内共通の利用者証を県が市を通して交付している。市の利用状況はどうか。

**答** 現在635人に利用証を交付。課題としては、車椅子マーク等が障がい者専用駐車場を優先的に利用できる証明にはならないにもかかわらず、カー用品店等で手に入るため、その必要がない人が購入・表示し、専用の駐車区画に停める悪質行為が目につく。このような状況を改善する一つの方法として、パーキング・パーミット(駐車許可)制度を推進していきたい。

**問** 安曇野市と軽井沢町の間に、上田市、小諸市、佐久市、東御市、池田町、御代田町ほか多数の自治体がある。通過する市町村の観光ポイントの点を線で結び、物語を創造する。こうした役割を、各自治体の地域おこし協力隊が担う、という地域おこし協力隊の活用について伺う。

**答** 地域おこし協力隊は、定住志向、地域おこし、観光振興に通じた人材を募集している。さらに効果的で実の上がる分野を特化していく必要がある、活用を図っていく。



同緯度にある安曇野市と軽井沢町

**問** 施設存続が決まっていますが、プール施設はバリアフリー化されておらず非常に使いづらい。本市が広域施設組合と共同して、健康増進事業等の利用計画や施設改修計画を進めることで、有効活用が拡大すると思われるがどうか。

**答** 広域施設組合の理事会や議会等で十分な議論が図られるよう、バリアフリー化の提案をしていきたい。

**問** 信州パーキング・パーミット

**答** 身体障害者手帳や母子手帳などの交付の際に、窓口で即時交付される



身体障害者手帳や母子手帳などの交付の際に、窓口で即時交付される

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)



# 市民の The Voice 声



## 自然環境

### 我が家

の玄関を開けると正面に常念岳・蝶ヶ岳が見え、素晴らしい自然環境の中で生活していると感じています。

### 今年

4月1日から施行された「安曇野市自治基本条例」の前文で「…先人たちが守り育ててきたかけがえない自然、誇るべき郷土の歴史と文化を継承し、後世に伝える役割がある」と明記されています。自然環境を壊すのはいとも簡単ですが、守り続けるには大変なエネルギーと知力と行動力が必要です。

### 私は

高校卒業後上京。約50年東京で仕事をし、4年前に帰郷しました。昭和30年代後半の東京の街は建設ラッシュで、自然破壊を見ました。その反省に立って、自然環境を守るために協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会に所属しています。

### 私の

住む久保田地区は、農林水産省が進める多面的機能支払交付金を活用して、自然環境の保全、美しい風景の



望月 大南夫さん  
(穂高)

形成などに取り組んでいます。具体的には農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持、水路・農道等の施設の補修等です。区内の小学生と昨年まで、田植え・稲刈り・昔ながらの手による脱穀の体験をしました。今年はさつま芋作りを行い、もうすぐ収穫、やき芋会が楽しみです。

### 我が家

は昨年からの農家民泊を始めました。受け入れているのは都会の中学2年生か3年生4〜5人で一泊です。基本は農作業体験ですが、闇夜体験・干し柿作り・養蚕の話等をしています。生徒からのお礼状に、安曇野の自然環境の素晴らしさが書かれています。

### 将来

、この素晴らしい安曇野に移住しようと考え、子供たちが出ることを期待しています。



やき芋会が楽しみ(苗の植え付けの様子)

## 議会傍聴へ ようこそ!

平成29年安曇野市議会 12月定例会 11月22日(水)~12月19日(火)頃を予定。第4期新議員でスタートします。皆さんの傍聴をお待ちしています。託児室をご用意してあります。お気軽にお問い合わせください。(要事前予約)なお、議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施中です!ぜひご覧ください。請願・陳情の締切は11月13日(月)です。それ以降の提出は次の定例会での審議になりますのでご注意ください。

## 編集後記

◆田園産業都市・安曇野を代表する稲作は、今年も黄金に実った稲穂の収穫に喜びを感じる季節になりました。一方で国の減反政策が終了し、将来を心配する農家の声が聞かれ、市民みんなで安曇野の農業を考えたいと思います。さて、安曇野市議会第3期議員による「議会だより」の編集発行も、今回の第48号が最後になりました。今まで市民の皆様から寄せられたご意見などを参考に、読みやすい誌面づくりに取り組んできました。市民の皆様方にご愛読いただき感謝申し上げます。委員長 竹内 秀太郎

## 議会広報特別委員会

委員長 竹内秀太郎 委員 坂内不二男 井出勝正 一志信一郎 藤原正三  
副委員長 林 孝彦 中村今朝子 平林 明 猪狩久美子 小林純子

## 今号の表紙写真



第2回羽根田卓也オリンピックメダル獲得記念・カヌースラローム大会が9月24日、明科龍門湖公園内を流れる前川に常設されたカヌースラロームコースで開催されました。大会には初心者から国内トップアスリートまでの57人が参加。参加者は巧みにパドルを使いながら、ゴールを目指していました。

## 気軽にご意見をお聞かせください

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地  
TEL 0263-71-2000 (市役所代表)  
TEL 0263-71-2156 (議会事務局)  
FAX 0263-71-2150 (議会事務局)  
E-mail: gikai@city.azumino.nagano.jp  
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/gikai/